

## 〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

8月報

### インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告数は0件（前月比ー、前年同月比ー）でした。4月の1例以降、発生はありません。

### 小児科定点

（全体傾向）

報告数1,780件（前月比 0.75, 前年同月比 0.94）でした。手足口病の流行は続いています。伝染性紅斑と流行性耳下腺炎を除く他の感染症は減少傾向にあるため、全体数は前月よりも減少しました。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 報告数96件（前月比0.5、前年同月比ー）でした。4月のピーク以降は減少傾向が続いています。1歳を中心として2歳以下が多数を占めています。人吉、菊池、八代からの報告が多いようです。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数32件（前月比0.3、前年同月比0.9）でした。6～7月にピークを迎えた後、今月は減少しました。1歳が半数を占めています。菊池、水俣、山鹿からの報告が多いようです。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数33件（前月比0.3、前年同月比0.5）でした。昨年5月から低い値で推移しています。年齢別では4～6歳が多くなっています。御船、人吉からの報告が多いようです。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数456件（前月比0.7、前年同月比1.2）でした。前月より減少していて、昨年同様の推移です。1～2歳を中心に全年齢層から報告されています。菊池、有明、御船からの報告が多いようです。
5. 水痘 : 報告数19件（前月比0.4、前年同月比0.5）でした。前月よりも減少して、例年よりも低いレベルに戻りました。菊池、宇城、熊本から報告されました。
6. 手足口病 : 報告数804件（前月比1.0、前年同月比8.1）でした。6月からの流行が続いています。年齢別では1～2歳に多いようです。宇城、菊池、熊本からの報告が多くなっています。
7. 伝染性紅斑 : 報告数12件（前月比1.0、前年同月比3.0）でした。昨年5月から低い値で推移しています。熊本・天草・有明地区からの報告のみです。
8. 突発性発疹 : 報告数104件（前月比0.6、前年同月比0.8）でした。もともと季節性変動の少ない疾患ですが、前月の6割まで減少しています。昨年の夏から新型コロナウイルス感染症の流行波が大きくなるたびに本疾患の報告数は減少する傾向にあり、こどもの受診控えを反映しているのかもしれませんが。年齢別では6ヶ月から1歳に集中しています。菊池から多く報告されました。
9. ヘルパンギーナ : 報告数51件（前月比0.9、前年同月比0.1）でした。昨年10月から少数の報告が続いていて、例年のような夏の流行はみられません。天草から多く報告されました。
10. 流行性耳下腺炎 : 報告数17件（前月比1.1、前年同月比1.4）でした。2019年11月から低い値が続いています。年齢別では4～5歳に多く、有明地区からの報告が多いようです。

## 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数 15 件。熊本市からの報告で、他地区からの報告はありません。20～29 歳にピークがありますが、1 歳、8 歳に各 1 件と低年齢層にはほとんど感染がありません。

## STD 定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：  
報告数68件（前月比0.7、前年同月比1.1）でした。男女別は、男性39件、女29件と男性に多くみられました。年齢別では、20代をピークに28件、次いで30代23件、40代5件と多く、男性は10代後半～60歳と幅広く分布しており、女性は20代をピークに12件、10代後半～40代に集中していました。地区別は、熊本市52件、次いで宇城が男性のみ7件、御船が前月同様、女性のみ4件、八代、有明が2件（男女各1件）、菊池が女性のみ1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：  
報告数19件（前月比0.9、前年同月比1.1）でした。男女別は、男10件、女性9件でした。年齢別では、男性では40代をピークに3件で、30代を除く、20～60代まで各1件と幅広く分布し、女性は60代が1件ありましたが、20代～40代に幅広く分布していました。地区別は、熊本11件、以下すべて女性のみ八代で3件、菊池で2件、御船、有明、宇城で各1件でした。
3. 尖圭コンジローマ：  
報告数は14件（前月比2.0、前年同月比1.6）でした。男女別では男性12件、女性2件でした。年齢別では、20代の男性8件をピークに20～40代に分布し、女性2件は20代と40代でした。地区別は、熊本が12件と最多（内女性1件）、有明が女性1件、宇城が男性1件でした。
4. 淋菌感染症：  
報告数は23件（前月比0.6、前年同月比1.2）でした。男女別では男性21件、女性2件でした。年齢別では20～30代前半が16件、内女性20代の1件、40代4件、内女性1件、10代後半と30代後半と60代前半男性各1件でした。地区別は、熊本17件、女性1件、次いで宇城が男性のみ5件、八代が女性のみ1件でした。

## 基幹定点

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：  
報告数14件（前月比1.1、前年同月比0.7）でした。10件、71%が70歳以上でした。乳幼児では発生なしです。山鹿、人吉（2件、定点あたり2.0）が多くなっています。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：  
報告数1件（前月比0.5、前年同月比0.3）でした。1-4歳が1件、有明からの報告です。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：  
報告数2件（前月比0.7、前年同月比-）で、有明からの報告でした。有明が続いています。3月以降やや増加傾向で注意が必要です。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数0件（前月比+0、前年同月比+0）でした。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数0件（前月比-1、前年同月比+0）でした。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数0件（前月比-1、前年同月比+0）でした。
4. クラミジア肺炎： 報告数0件（前月比-、前年同月比-）でした。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：  
報告数0件（前月比+0、前年同月比+0）でした。

## 届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	15件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	4件
4類感染症	： レジオネラ症	6件
5類感染症	： カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1件
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2件
	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
	梅毒	11件
	百日咳	2件
新型インフルエンザ等感染症	： 新型コロナウイルス感染症	5, 159件